

今年度重点テーマ

「戦後70年の今 平和について考えよう」に決定!

5月11日(月)、人権機関有田川理事會が開催され、今年度の重点テーマは「戦後70年の今 平和について考えよう」に決定しました。

人権啓発標語募集

◆応募対象

有田川町に在住、もしくは通勤・通学している方

◆内容

「平和」「友達」をテーマにした

標語

◆応募方法

作品に氏名(ふりがな)、年齢、学校名・学年(学生の場合)、住所、電話番号を記載し、次までご応募ください。

※応募は一人一作品です。

◆応募先

〒643・0153

有田川町中井原136番地2

有田川町教育委員会社会教育課内

人権機関有田川事務局

電話番号 52・2111

FAX 32・4827

※応募はFAXでも受け付けます。

◆応募期間

7月7日(火)～9月2日(水)

◆賞

一般の部(高校生含む)・中学生の部・小学生の部の3部門で若干数選考し、記念品を贈ります。

◆展示

優秀作品については、広報紙掲載、文化祭などでの展示、人権標語作品集の作成など啓発に広く活用いたします。

◆その他

応募作品は未発表のものに限ります。作品の著作権は主催者に帰属し、主催者が応募者の承諾を得ず、啓発用教材などに使用する場合がありません。応募作品は原則として返却しません。

人権講演会レポートから

5月30日(土) きびドームにて、石田英司氏による「もっと知りたい社会問題」と題しての講演会があった。石田氏は毎日放送の番組「ちちんぷいぷい」で知名度が高く、講演内容を楽しみにしていた。

講演は「ちちんぷいぷい」の制作内容にかかることから始まり、経済活動に関するお話、最後に参会者からの質問に答えるという内容であった。

番組の制作については、ニュースを昼間の番組としたことやアスペルガー症候群・ADHDなど発達障害に関することを初めてテレビで取り上げたことなどを話された。経済活動については、外国為替レートの動向を中心に、これからどう対応すべきか話された。

質疑応答は、国の債務・県民としてしなければならぬことは何か・預金封鎖の質問が出され、全て経済活動に関するものであった。

全体として、人権というより経済面を主に話されたように感じたが、生活保護制度などという最低制度の生活を保障するための金銭に関係した制度もあり、経済も人権というフィルターを通して考えていくことが大切であると思う。

お知らせ

7月16日(木)、人権特設相談所を開設いたします。

相談は無料で、秘密は厳守されます。

場所/金屋文化保健センター
時間/13時～16時

人権映画会のお知らせ

飛べ!ダコタ

監督:油谷誠至
出演:比嘉愛末・窪田正孝

その島を選んだのは、憎しみか、日本人の誇りか

終戦から5ヶ月、佐渡の地に舞い降りた一機の英国機が運んだものは—
70年の時を経て今蘇る戦争と国境を越えた感動の実話

日時/7月11日(土)13時30分～
場所/清水文化センター
※入場は無料ですが、整理券が必要です。

人権に関する問い合わせ

有田川町教育委員会 社会教育課

TEL 52-2111

FAX 32-4827